

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名【新】避難促進対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111 (内3767)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,138 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,138	0	0	0	0	0	0	0	7,138
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年、豪雨や台風等の風水害が頻発化・激甚化しており、岐阜県においても毎年のように大規模災害が発生している。

その都度避難の状況を調査するが、避難所への避難率は1パーセント未満、避難行動実施者は3割に満たない状況となっており、自助や共助を促すための仕組みづくりが必要とされている。

(2) 事業内容

現在、県が運用しているLINE「岐阜県_公式防災アカウント」上で、避難情報と気象情報を自動で受け取ることができるように、機能の追加を実施する。

また、3箇所まで地点登録できるようにし、自宅、勤務先、実家などが複数の自治体にまたがる場合でも情報が入手できることとする。

避難情報等は、県民に避難を促すため、具体的なメッセージを配信し、避難を促していく。

○プッシュ配信

- ・避難情報(高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保)
- ・気象情報(警報、土砂災害警戒情報 等)

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (県が運用するSNSアカウントであるため)

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	100	消耗品費
役務費	50	通信費
委託料	6,988	追加機能の開発及び運用保守業務の委託
合計	7,138	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期県強靱化計画 第5章 強靱化の推進方針の3(10)「リスクコミュニケーション/防災教育・人材育成～自助・共助の底上げ～」において、「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る旨を規定。

(2) 国・他県の状況

福岡県がLINE上で避難情報を配信する事業を行っている。

(3) 後年度の財政負担

避難情報等を発信する追加機能について、保守費用が発生する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県が整備したSNSアカウントの運用にかかる機能追加であることから、県が事業主体となることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
より多くの県民へ避難情報等を速やかに伝達することで、適切な避難行動につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①避難情報発令対象者のうち実避難者の割合	/	1%	1%	3%	5%	33%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	近年、豪雨や台風等の風水害が頻発化・激甚化しており、岐阜県においても毎年のように大規模災害が発生している。このような状況で、住民の避難を促すことは喫緊の課題となっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 より多くの方へ情報を伝えるため、アカウントの登録者数を増やしていくことが必要。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 避難率を向上させるため、効果的なメッセージの配信を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	LINE公式アカウント(防災教育推進費)【防災課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	LINE公式アカウントは令和3年10月時点で約5,000人の登録があり、多くの県民へ情報を伝達することができる。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
